



AvePoint®

DocAve® 移行ソリューション

新環境への移行

AvePoint®



SharePoint 2007 環境を
SharePoint Server 2013
へとアップグレードすることを計画しています。



しかし SharePoint の既定機能による移行作業は
時間とリソースを膨大に消費することとなるため、管理
者は **DocAve** を活用して移行プロジェクトの効率化
をはかることにしました。

ステップ 1



管理者は、**DocAve** プリスキャン ツール
を使用します。



このツールを使用した分析では、移行の範囲をはじめ
カスタム情報、アクティブなワークフロー、その他様々な
情報を収集することができます。これらの重要な情報
をもとに、管理者は効率的な移行作業を計画してい
きます。

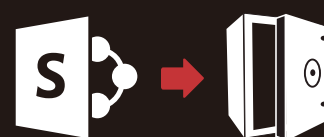
ステップ 2



コンテンツ インベントリの洗い出しを行っ
た管理者は、経営者たちと協議の上の
コンテンツを移行先に持っていかを
決定します。



ここで、古く使われないコンテンツに対してラ
ベル指定を行うためのビジネス ルールが設
定されます。**DocAve 移行ソリューション**
によるフィルター ルール機能を使用すれば、
移行プロジェクト中でも古いコンテンツの識
別を自動で行うことができます。



また、同様のルールを **DocAve アーカイ
バ** にも適用することで、使用期間の終
了したコンテンツを SharePoint からオフ
ロードし、より安価なストレージで保管す
ることができるようになります。

ステップ 3



リスクの緩和とガバナンス ポリシーの強化を目的として、管理者は **DocAve 管理センター** を
使用して移行先環境の権限の確認、修正、不要な権限の削除をおこないます。

ステップ 4



DocAve 移行ソリューションでは、スケジュール設
定や増分移行機能などが使用可能です。管理者
は、業務への影響を基準に移行対象サイトの
優先順位を決定 します。

DocAve 移行ソリューションを使用すれば、エンド
ユーザーから見たダウンタイムは限りなくゼロに近づ
けることができます。しかし管理者は、自らの業務
効率と生産性を最大限に活用するため、重要なサ
イトの移行作業を週末にスケジュール設定しました。

ステップ 5



管理者は、**DocAve 移行ソリューション** の持つテ
スト実行機能を使用します。

テスト実行では、移行時に発生する可能性のある
エラーをすべて測定することが可能です。この機
能により管理者は問題個所を見つけることができ、
週末に予定されている移行作業本番に向けて業
務に影響が発生するリスクを最小限に抑えること
に成功しました。

ステップ 6



月曜日、管理者は移行レポートをチェックします。ここで、サイトがすべて新しい環境に移っており、さらなる増分移行作業が
必要ないことを確認することができました。

管理者は引き続き他のサイトについても移行プロセスを進めていきます。

結果



管理者

SharePoint 環境の確認、修
正、最適化を行うことで、移行
プロジェクトに伴う作業時間を最
小限に抑えることができました。



経営者

必要なリソースを限定することで移
行プロジェクトのコストを最小化する
と同時に、高価な SQL Server ス
トレージの導入を検討する必要がな
くなりました。



エンドユーザー

様々な新機能が拡張された
SharePoint Server 2013
環境へのシームレスな移行を
実現することができました。